

小平町 金野 郁子 さん

北海道民泊事例集 -人とふれあい、地域とつながる- 1

自宅にしながら「国際交流」



自己紹介



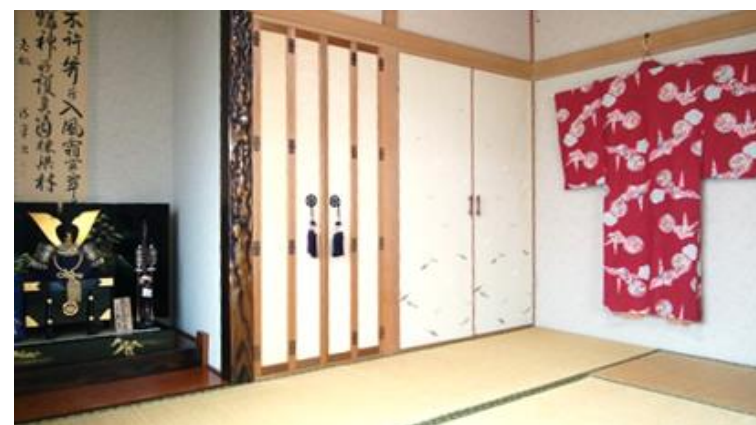
夫婦で「そば&カフェ からくれ」を営みながら、自宅を活用して民泊を始めました。以前から「インターナショナルお楽しみ倶楽部」という団体を運営しており、節分やハロウィンなどに合わせて、国際交流イベントを開催しています。イベントを始めたきっかけは、留萌管内の学校で外国語指導助手(A L T)として勤務している外国人の方々に、日本の文化や習慣を紹介しながら地域のみんなで楽しめる機会を作りたいと思ったことです。他にも、講師を招いて英会話教室やアロマ講座、マナー講座なども行っています。お店の中でのコンサートや写真展、手芸品展示販売会を行ったりもしています。自分で興味があることや学んでみたいことを実践してきましたが、その中に民泊が加わったんです。

民泊を始めたきっかけ

海外旅行が好きで、これまで様々な国を訪れました。そうした中、アメリカで2週間ほど一般のお宅に泊めてもらったこともあります。ホストとじっくり交流できましたし、住宅事情やインテリア、習慣などのちょっとした違いをいくつも発見でき、とてもおもしろいなと思いました。

法律ができて、民泊ができるようになったのを知って、民泊ならば、自宅にしながら海外の方と交流ができるなと思いました。ちょうど、子ども達が巣立って自宅に空き部屋があったので、何か活用できないかと考えていましたし、勉強している英語を使う機会が増えたらいいなと思っていたときでした。

民泊を始めてから、観光や外国のニュースが気になるようになりました。外国人が日本のどんなところに興味を持っているかなど、メールマガジンなども活用して情報収集を心がけています。



民泊をやってみて…

小平ダムに興味があると言って韓国からやってきた方もいましたが、多くの方は稚内などへの中継地点として小平を選んでいるようです。小平にこれといった目的があるのではなく、ただ泊まればいいというような印象を受けます。

けれど、朝のそば打ち見学を楽しんでもらったり、町内のいろいろなスポットを案内してみると、「ただ泊まるだけだと思っていたのに、すごくいい経験をさせてもらえた」と言ってくれました。「いっぱい宣伝しておくよ」と、SNSで小平町を紹介してくれる方もいます。それを誰かが見て、また小平に来てくれたら嬉しいです。

苦労と言えば…家の掃除ですかね(笑)。急なお客さんにも心地よく過ごしていただけるよう、一つ一つに気持ちを込めながら、小平での交流を楽しんでいます。あとは、もっと英会話を勉強したいので、時間を上手にやりくりしたいです。



小平町のおすすめ

旧花田家番屋

小平を代表する観光施設です。ニシン漁で栄えたこの地域の歴史を知ってもらうきっかけになればと思っています。「ザ・ジャパン」という感じの建物なので、海外からの方にも興味を持っていただけます。

往時のやん衆の道具などが展示されているので、自分で伝えられる範囲で英語で説明します。例えば、魚などを背負って運ぶための道具「もっこ」なら「backpack」。



タコ茹で見学

地元ならではの、知り合いのタコ箱漁師さんにご協力いただき、水揚げしたばかりのタコを浜小屋で茹でるところを見学してもらいました。

生きたタコを切って、洗って、茹でて。「小屋ごとに、塩加減や茹で加減が違うので、一軒ずつ味が異なるんだよ」といった話を聞きながら、獲れたて、茹でたての普段食べられないようないろいろな部位を試食してもらい、とても喜ばれました。

ほかにも…

町内の農家さんがSNSにトウモロコシ収穫の様子を載せていて、お客さんから見に行きたいと言われたことがあります。残念ながら、時期が合わなくて見ることはできませんでしたが、このようなニーズもあるんだとわかりました。

そう考えると、まだ案内したことはありませんが、ミニトマトやお花の農家さん、ピザ窯を持っている方などいるので、町内にもいろいろ見どころがありますね。

また、香港のテレビ番組で、留萌にある書店の取組が紹介されたのを見て来た方もいました。書店の店長と知り合いだったのでお連れしたところ、大変感動していただきました。店長も、外国から会いに来てくれたと喜んでいましたね。

以前は、どこを案内したら喜んでもらえるのかと悩みました。外国のように巨大な滝があるわけでも、古都のように文化遺産があちこちにあるわけでもないですし、でも、オーストラリアからのお客さんが「雪景色を見たり、雪遊びをするだけでも楽しい」と言っていました。夕日や海をすぐ近くで見られるのも魅力。地元の人が氣にとめないような何気ないものも観光資源になるのかもしれない。

今後は…

もう少し宿泊の募集を増やしたいと思います。また、案内できる場所を増やして、地域をもっとPRできるようにしたいです。見所を聞かれたら答えられるように、パンフレットなどで情報を集めています。

連泊して他の地域に足を伸ばすお客さんに地元のタクシーを紹介するとか、一緒にイベントに参加するなど、地域の方との交流をもっとやってみたいと思っています。

